

**山田検校** 盲人音楽家。箏曲山田流の祖。独自の箏歌で、それまでの生田流系の地歌・箏曲を押し、江戸中に普及。

やまだけんぎょう

源内物産会・1757 = 尾張藩宝生流能楽師ともいわれる三田了任の子に生まれる。母方の姓が山田。名は斗養一。

**大岡忠光没**・1760 = 3歳 :

幼時に失明，

**忠臣蔵大当り**1766 = **9歳** :

当道座に入り

御蔭参流行・1771 = 14歳 : この頃、長谷富検校門下で「箏曲大意抄」の著者の医師山田松黒に師事して箏組歌を習得したといわれる。

**田沼意次老中**1772 = 15歳 :

大原騷動・・1773 = 16歳 : この頃から河東節、一中節などの当時江戸で流行していた浄瑠璃系の三味線音楽の箏曲化を試みる。

黄表紙始・・1775 = **18歳** :

・・・・・1777 = 20歳 : **処女作「江の島の曲」(「江の島」)を作曲したといわれ、時流に乗った作品は瞬く間に広がったらしい。**

意知刺殺事件1784 = **27歳** :

**田沼意次失脚**1786 = 29歳 :

**松平定信引退**1793 = **36歳** :

昌平覺始・・1797 = 40歳 : **源照派の寺家村脳一検校を師として検校に登官。**

その後も、同様の浄瑠璃的な箏曲を作曲。

伊能測量始・1800 = 43歳 : **「山田の穂並」**，

一九膝栗毛始1802 = **45歳** :

浮世風呂・・1809 = 52歳 : **「吾嬬箏譜」などの歌本を刊行、また、自序を付した楽譜集も出している。**

**ゴウゴン拿捕** 1811 = **54歳** :

杉田玄白没・1817 = 60歳 : **第68代江戸惣録となったが、2ヵ月後に没した。**

代表作品は四曲とよばれる「小督の曲」「熊野」「長恨歌の曲」「葵上」はじめ、「紀の路の奥四季の段」「住吉」「八重垣」「那須野」「千里の梅の曲」「桜狩」、山田流箏曲のなかの唯一の箏組歌「初音の曲」などがある。